

News Release

2009 年 8 月 28 日

株式会社日本政策投資銀行

代表取締役社長 室伏 稔

(株) 築港に対し、DBJ防災格付に基づく融資を実施

株式会社日本政策投資銀行（社長：室伏稔、以下「DBJ」という。）は、2009 年 8 月 28 日、株式会社築港（本社：兵庫県神戸市、代表取締役：瀬戸口 仁三郎、以下「当社」という。）に対し、DBJ 防災格付融資を実施しました。

DBJ 防災格付融資は、中央防災会議「防災に対する企業の取組み」の自己評価項目表をベースに独自の評価システムを構築し、防災に対する取り組みの優れた企業を評価・選定した上、当該企業の防災対策事業に優遇金利で融資を行うという「防災格付」の手法を導入した世界初の融資メニューです。

当社は、大正 13 年創業の石油化学製品などの危険物の取扱に特化した総合物流事業者で、神戸・横浜を中心に日本の主要 6 大港を網羅する港湾物流ネットワークを活かし、斯業界に於けるトップランナーとして、港湾における危険物の荷役・輸送について中核的な役割を果たしています。

今回の評価では、(1)東海・東南海地震をはじめとする大規模災害に備え、子会社も含めた防災計画を策定し、災害時指揮命令システムの整備等を行っていること、(2)危険物保安管理者や毒劇物取扱者等の資格取得を含めた全社的な教育訓練を実施し、日頃から社員の防災に対する高い意識を醸成させていること、(3)危険物の漏洩等による二次災害防止について、ハード面では爆発・延焼防止のための空地確保がなされ、危険物の種類に応じた消火設備を装備していることに加え、ソフト面では予防規定等により各社員の役割分担が明確化されており、定期的な訓練により初期動作が周知徹底されていること、(4)各事業所において、周辺企業や自治体と協力しながら港湾地域の防災力の向上に寄与していること、等を高く評価致しました。

今般の融資は、防災対応に配慮した危険品倉庫建設等を対象に実施するものです。今後は、施設の安全性向上の取り組みを着実に進めるとともに、事業継続対策まで視野に入れた体制整備により、サプライチェーン全体の防災に重要な役割を有する物流事業者として、自社及び顧客企業の防災力向上に努め、港湾地域全体の防災対策の充実にさらなる貢献をしていくことが期待されます。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～私たちは創造的金融活動による課題解決で、お客さまの信頼を築き、豊かな未来を、ともに実現していきます～」に基づき、今後とも幅広い業種・地域への DBJ 防災格付融資の活用を通じ、防災に向けたお客さまの取り組みを積極的に支援して参ります。

【お問い合わせ先】

関西支店 企画調査課
業務第一課

電話番号 06-4706-6455
電話番号 06-4706-6452